「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ



フードバンクかながわ

学　習　資　料

2022年1月版

シーサイドライン鳥浜駅徒歩3分にある

フードバンクかながわ事務所兼倉庫



フードバンクかながわ倉庫2



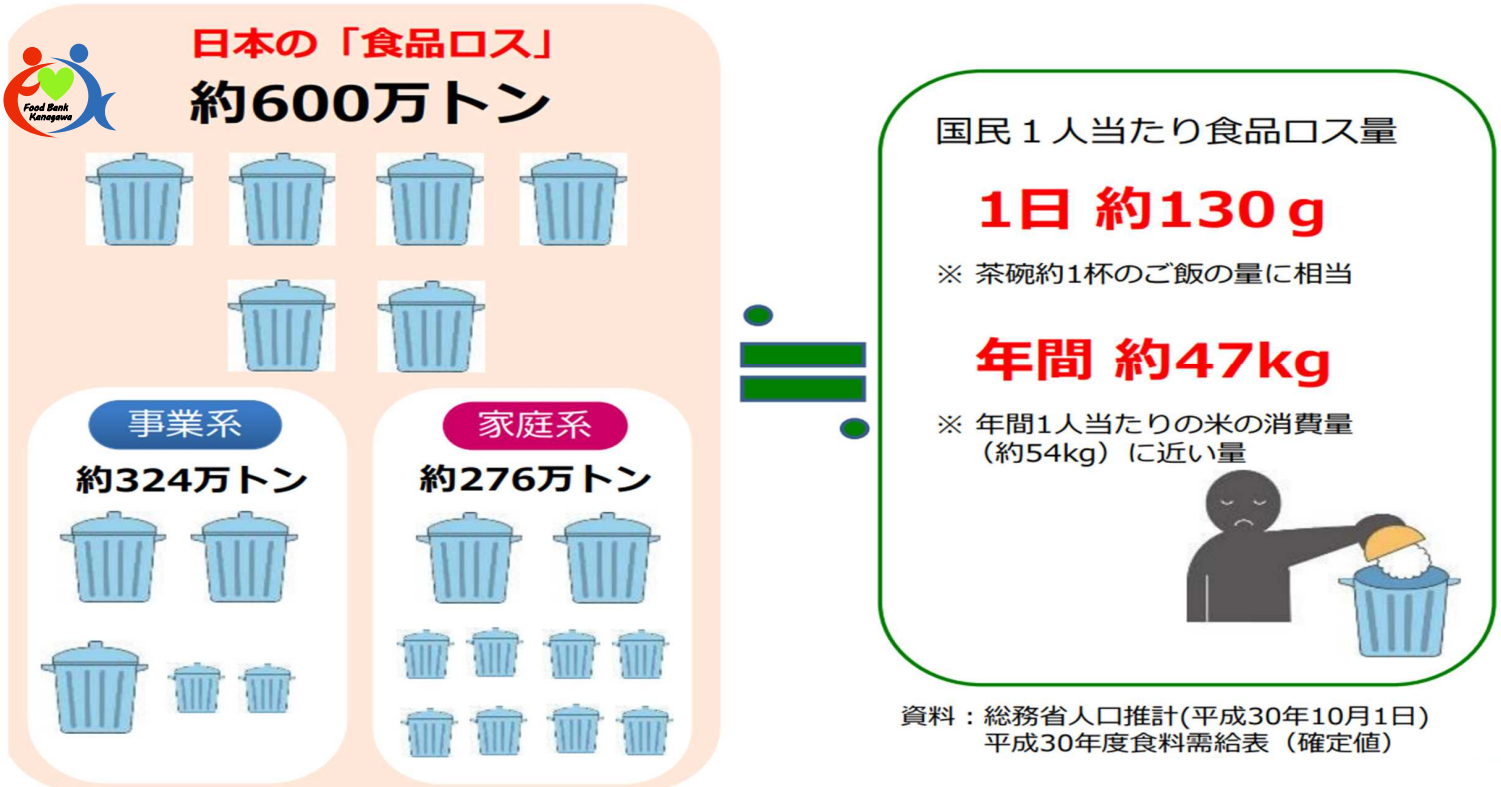
フードバンクかながわ設立経緯

2015年 9月　マイクロクレジット・フードバンク研究会
2016年11月　フードバンク検討会
2017年 4月　フードバク設立準備会
2018年 2月　一般社団法人フードバンクかながわ設立
2018年 4月　事業運営開始
2018年10月　公益社団法人となる（ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾝｸとしては全国初）

【構成団体】

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
神奈川県生活協同組合連合会
神奈川県農業協同組合中央会
神奈川県労働者福祉協議会
公益財団法人かながわ生き活き市民基金
公益財団法人横浜YMCA
生活協同組合パルシステム神奈川
生活協同組合ユーコープ
生活クラブ生活協同組合
こくみん共済 COOP　神奈川
中央労金神奈川県本部
（特非）参加型システム研究所

日本の食品ロスの状況（平成30年度）



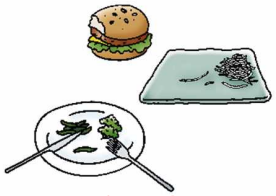
事業系【外食産業・製造業・卸売業・小売業】の食品ロスの例



売れ残り
店舗で売れ残ったもの



仕込みすぎ
飲食店で仕込みすぎた料理



食べ残し
飲食店で客が食べ残したもの



納品期限切れ
欠品を防ぐために多く仕入れた商品のうち、期限切れなどで販売できなくなったもの、企業の商習慣（1/3ルール）など。



破損品
輸送過程で中身は何ともなくても、外箱が破損したり汚れて販売できなくなったもの



規格外品
製造過程での印字ミス（賞味期限、消費期限など）や型くずれ等により販売できなくなった食品



製造や加工工程での調理くず
製造過程で食べやすい大きさや容器に入る重量に原料をカットする等で必然的に廃棄される食品

4

Food Bank Kanagawa

●食品製造業、卸売業、小売業での食品ロス②

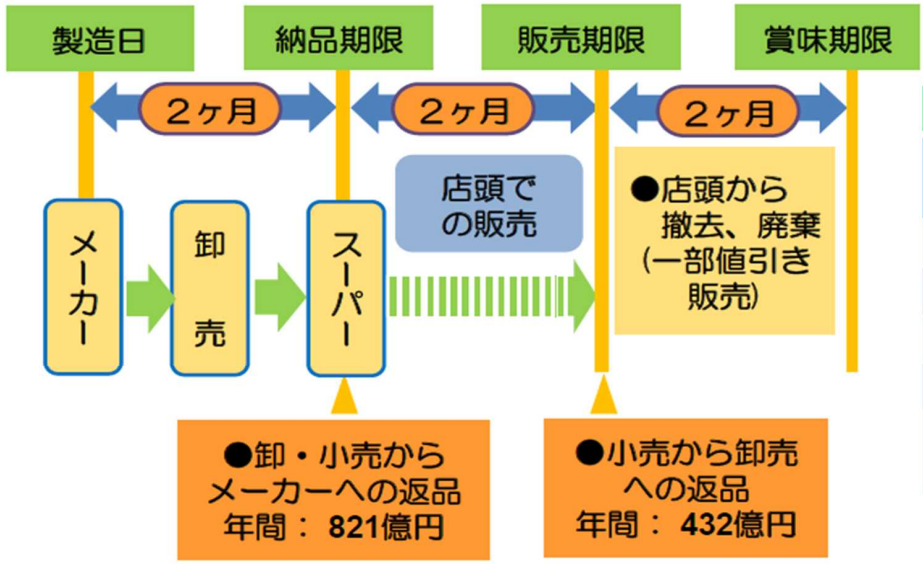
食品ロス問題

○　小売店などが設定するメーカーからの納品期限及び店頭での販売期限は、製造日から賞味期限までの期間を概ね３等分して商慣習として設定される場合が多く（いわゆる３分の１ルール）、食品ロス発生のひとつの要因とされている。

いわゆる３分の１ルールによる期限設定の概念図（賞味期限６ヶ月の場合）

1/3という商習慣

食べられるのに捨てられる



資料：製・配・販連携協議会による平成26年度の推計結果

●欧米の納品期限

国	納品期限（賞味期限ベース）
アメリカ	1／2残し
フランス	1／3残し
イタリア	1／3残し
ベルギー	1／3残し
（参考）日本	2／3残しが平均

5

☆3010（さんまる　いちまる）運動

農林水産省
食料産業局

- ✓ 宴会時において、約７皿に１皿相当が食べ残されている状況。
- ✓ 3010運動は、宴会時に「食べきりタイム」を設け、食品ロスを減らす取組。
- ✓ 長野県松本市で平成23年５月から始まり、多数の自治体に広がっている。

3010 運動（さん まる いち まる）

宴会での食べ残しを減らす運動です

乾杯後 30 分間 は席を立たずに料理を楽しみましょう

お開き 10 分前 になったら席に戻って料理を楽しみましょう

京都市の調査によれば、宴会で「幹事からの声かけ」や「卓上POPの設置」の取組を行った場合、取組なしにくらべて、食べ残し量が**約４分の１**に。
（調査対象数が少ないため一般化はできないことに留意）

	調査対象宴会(回)	参加人数（人）	食べ残し総量(g)	平均1人当たり食べ残し量(g)
取組あり	4	59	417	7.1
取組なし	5	107	3,315	31.0

（1/4）

資料：第60回京都市廃棄物減量等推進審議会　（平成29年3月28日）

【地方自治体の取組（松本市、佐賀市）】





【3010運動テーブルトップ（環境省・農林水産省）】



Copyright 2016 Food Industry Affairs Bureau.　Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

6

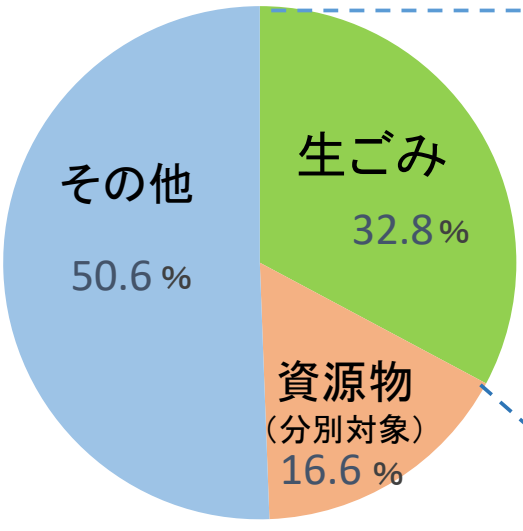
神奈川県内の家庭から出される食品ロス（2019年）

食品ロス発生量＝211,000トン/年（事業系：277,000トン/2018年）

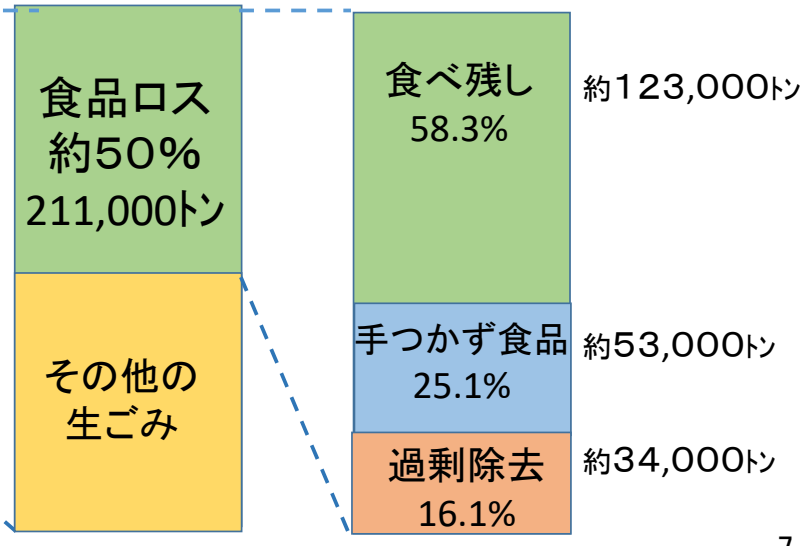
◆処理費用約84億8600万円（1t当たり40217円）

◆温室効果ｶﾞｽ排出量（CO2）＝約53,592トン（1t当たり243.6kg）

燃やすごみの組成調査結果（2018年）



食品ロスの種類と発生量（2018年度推計）



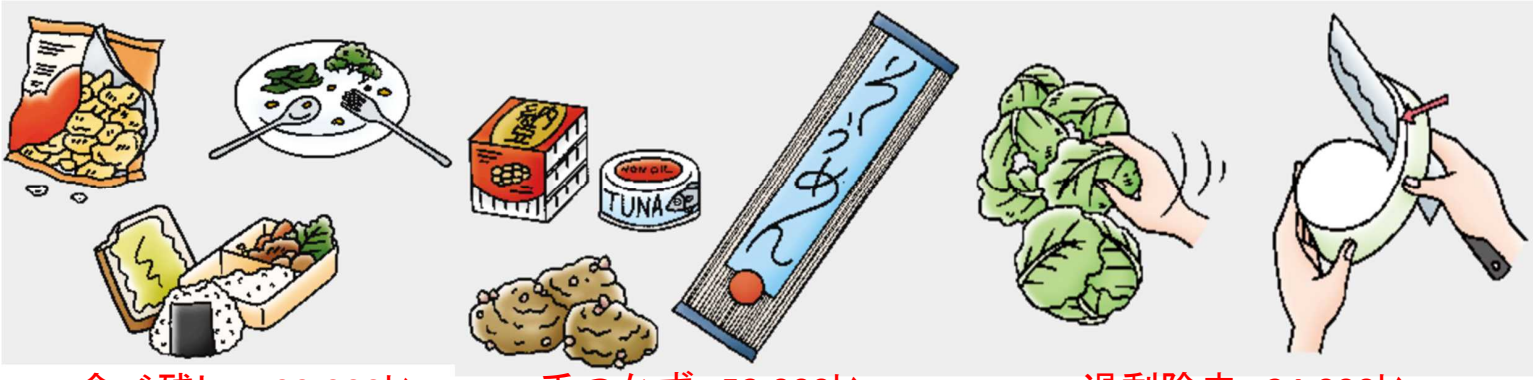
神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

7

神奈川県内の家庭系食品ロスの焼却費用・ＣＯ2排出量

◆処理費用約84億8600万円（1t当たり40217円）

◆温室効果ｶﾞｽ排出量（CO2）＝約51,400ﾄﾝ（1t当たり243.6kg）



食べ残し　123,000ﾄﾝ

・作りすぎ・買い過ぎ・好き嫌い・ちょっと残し等

◆処理費＝49．5億円/年

●CO_2　＝31,083ﾄﾝ

手つかず　53,000ﾄﾝ

調理されず、何も手がつけられずに廃棄される食品

◆処理費＝21．3億円/年

●CO_2　＝12,911ﾄﾝ

過剰除去　34,000ﾄﾝ

野菜や果物の皮を厚くむきすぎたり、取り除きすぎたもの

◆処理費＝13．7億円/年

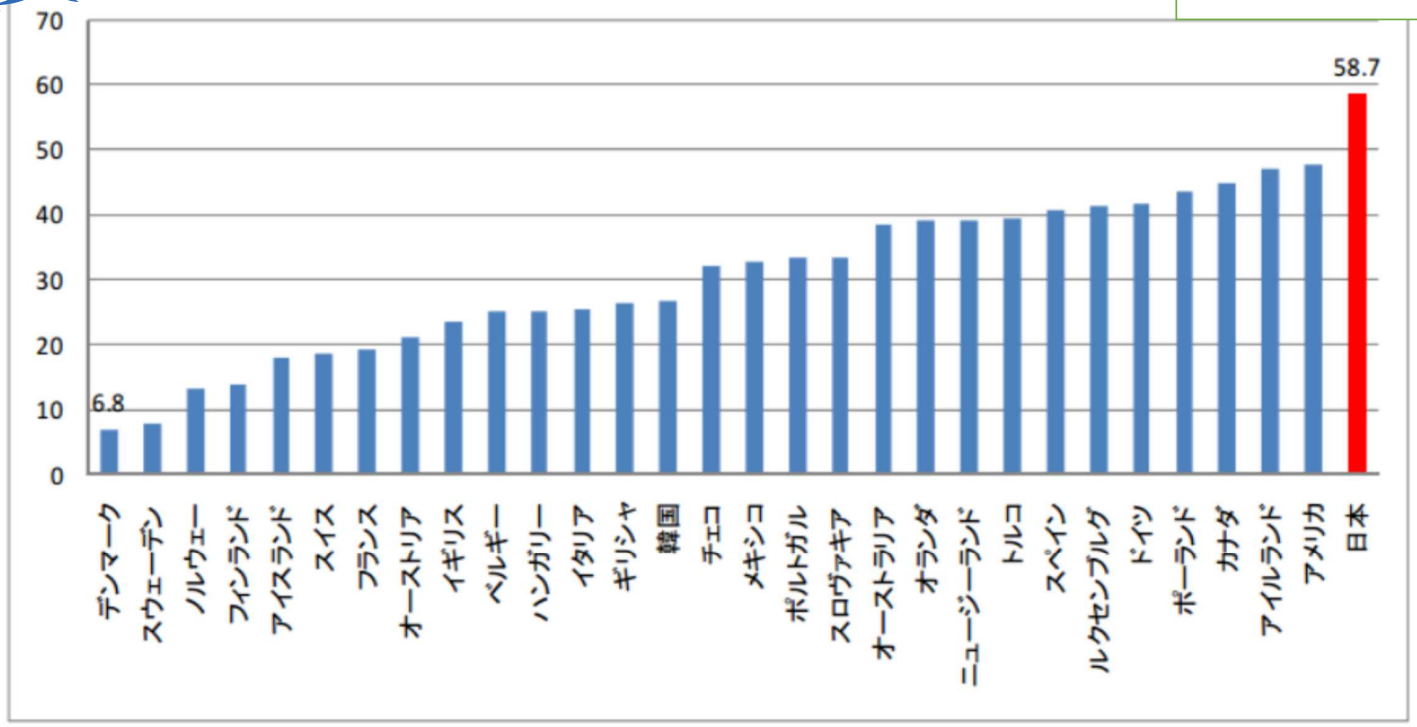
●CO_2　＝　8,282ﾄﾝ

神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

8

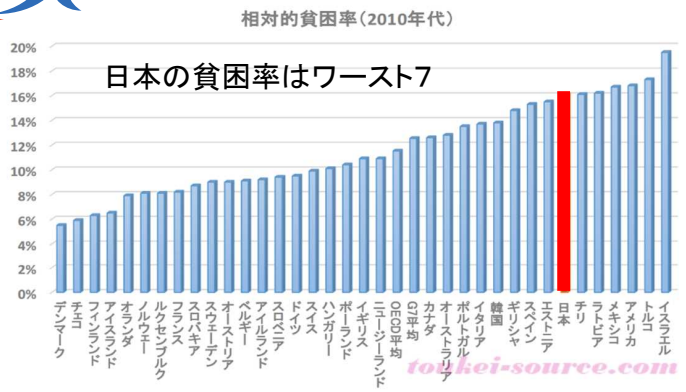
貧困問題

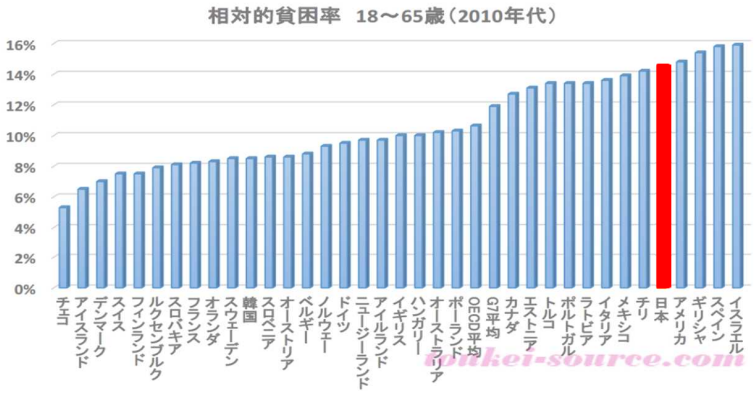
子どもがいる現役世帯で大人が1人の世帯の貧困率

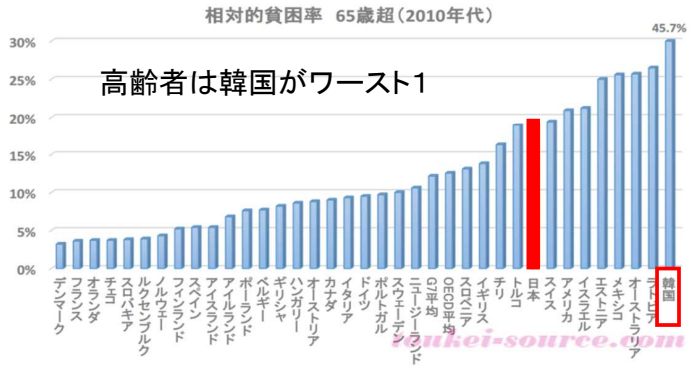


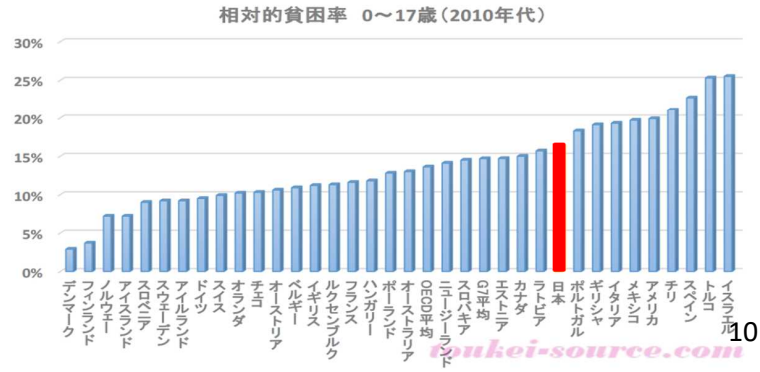
9

相対的貧困率の国際比較（対象：OECD加盟34か国）









10

貧困の現状

貧困問題

【日本の貧困率】※2019年国民生活基礎調査（OECD基準）

- 相対的貧困率・・・・・・・・・・・15.8%
- 子どもの貧困率・・・・・・・・・・14.0%
- **子どもがいる現役世帯のうち**
  大人が一人の貧困率・・・・・48.2%
  ※OECD（経済協力開発機構）加盟国中、最下位
- 貧困線・・・・・・・・・・・・・・・・・・122万円（可処分所得）

11

貧困問題

【神奈川県の現状】※2015年国勢調査等（人口のみ2021年8月）

- ひとり親世帯数　33万世帯（約88万人）
- 神奈川県の貧困率・・・・・・・・16．7%
  ※山形大学戸室准教授2016年報告（2012年度）
- 神奈川県の最低生活費・・・・145．6万円（1人）
  ※全国で最も高い（東京143.7万、山梨95.8万）
- 人口・・・・・・・・・・・・・・924．3万人
  ※横浜378万、川崎154万、相模原73万、清川村3千
- 高齢化率・・・・・・・・・・　25.4%（全国27.4%）
  ※川崎市中原区15.2%、三浦市40.1%、湯河原町42.8%

推計154万人

12

フードバンクかながわの設立目的（モットー・キーワード）

「もったいない」を
≪食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす≫

「分かち合い」～
≪フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現≫

「ありがとう」へ
≪生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の食のセーフティーネットをめざす≫

13

フードバンクかながわの現状

2021年12月31日現在

- 正会員団体　11団体：306口（1口5万円）
- 賛助会員入会状況
  （1） 団体会員　203（団体）：646口（1口1万円）
  （2） 個人会員　288名：　1,446口（1口千円）
- 寄付金（累計）
  55団体102名　52,224,413円（2021年度:15,797,316円）
- 合意書締結状況
  （1） 食品寄贈事業者　213社（団体）
  （2） 食品受取（行政・社協）　57団体
  （3） 食品受取団体　207団体

14

フードバンクかながわの事業

【法人が行う公益目的事業】

（1）食料の収集・配布を通じた、生活困窮者等への支援事業

（2）食品ロスの削減、フードバンク等に係る調査研究・啓発・政策提言を目的とする事業

（3）地域社会における市民の相互扶助を増進することを目的とする事業

（4）災害等の被災者に対する食料・生活物資等の支援事業

（5）勤労意欲ある生活困窮者等の就労支援を目的とする事業

15



寄贈者

企　　業：　様々な理由で販売困難となった賞味期間残２か月以上の食品を寄贈・提供
行政･企業：　災害備蓄品などの提供
個　　人：　直送やﾌｰﾄﾞﾄﾞﾗｲﾌﾞでの寄贈
◆取扱い食品：ｱﾙｺｰﾙ類を除く「常温保管可能食品」及びお米（精米・玄米・もち米・籾米）

フードバンクかながわ

◆寄贈品の入庫管理･在庫管理･提供団体毎に仕分け･出庫管理（受渡･発送）
◆「食の支援を必要としている方々」を支援している団体や行政･社協等に無償提供
◆団体への情報提供

支援団体

提供食品の受渡し場所は、FB倉庫又は中継拠点まで各団体から引取りにきていただきます。（送料着払も対応）
※直接、個人にはお渡ししません。

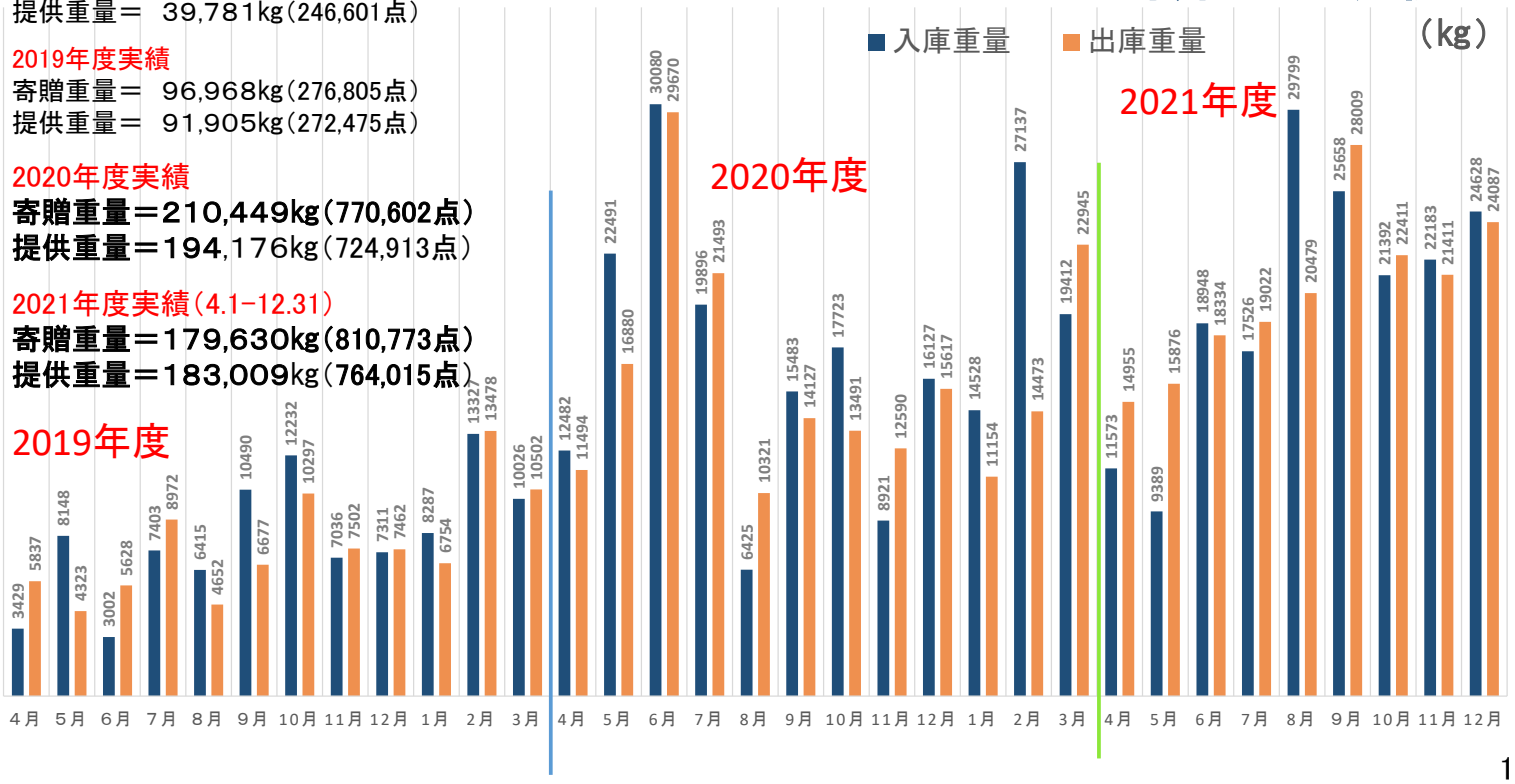
2018年度実績
寄贈重量＝　46,394kg（286,391点）
提供重量＝　39,781kg（246,601点）

2019年度実績
寄贈重量＝　96,968kg（276,805点）
提供重量＝　91,905kg（272,475点）

2020年度実績
寄贈重量＝210,449kg（770,602点）
提供重量＝194,176kg（724,913点）

2021年度実績（4.1−12.31）
寄贈重量＝179,630kg（810,773点）
提供重量＝183,009kg（764,015点）

2019.4.1～2021.12.31の寄贈量と提供量



18

主な寄贈食品の内訳（2021.12.31現在）

	【2019年度】	【2020年度】	【2021年度4.1-12.31】
• 個人寄贈（フードドライブ）	15,963kg	43,839kg	51,571kg
• 防災備蓄品	21,654kg	44,416kg	45,430kg
• お米（精米、玄米、もち米）	21,950kg	49,696kg	48,397kg
• 協同組合関係	31,330kg	52,520kg	47,599kg
• その他の事業者	20,822kg	66,565kg	25,575kg

※米及び防災品の一部は重複掲載

19

21.4.1-12.31フードドライブ実績

※点検・仕分終了分

ユーコープ　80店舗	9129kg
パルシステム神奈川	4492kg
生活クラブ生協	1040kg
その他生協（富士フイルム）	358kg
労働関係	5662kg
JA関係	1297kg
神奈川県	661kg
横浜市（栄・港南・金沢区役所）	769kg
横須賀市	1436kg
藤沢市・三浦市・伊勢原・綾瀬	908kg
イトーヨーカドー18店舗	9537kg
そうてつローゼン7店舗	2084kg
イオン2店舗	612kg
無印良品38店舗	2295kg
FOOD & TIME ISETAN YOKOHAMA	148kg
中栄信用金庫	1998kg
川崎信用金庫	828kg
その他の団体・企業	3588kg
個人（持込・直送133名分）	3595kg

合計：51,571kg



8/24-9/3神奈川県庁の本庁舎、新庁舎、東庁舎の4カ所でフードドライブを実施。写真は、新庁舎1階にて、當具代表理事、庭野理事、水谷北央医療生協専務。



横浜銀行矢野支店長・かながわ学生ボランティア連合とボランティアのみなさん

ひろがるフードドライブ



横浜市立大学Table for Two



神奈川県庁（2回目）



WE21ジャパンさかえ



中栄信用金庫



㈱伊達建設



明治安田生命



回収拠点300カ所を超える



YSCC（サッカーJ3）



神奈川県弁護士会



JA神奈川県中央会



東京サラヤ㈱

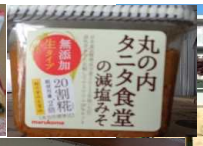


横浜YMCA



高野山真言宗青年教師会







㈱マルコメより味噌とｲﾝｽﾀﾝﾄみそ汁：
計55500点約3.3ﾄﾝ



JAよこすか葉山キャベツ800個



全農・三浦市農協大根320本



貝印シャトルシェフドラ



連合神奈川・基幹労連（Jマリン＋IHI）研修



三井住友信託銀行



JA横浜女性部は毎年食品と寄付金を寄贈
（11万9848円）



大和市の小学校でフードドライブ・
SDGｓの総合授業



京浜急行電鉄



米一合プロジェクト
ユーコープ横浜みなみエリア



アンリツ労働組合
62万2800円寄付



韓国の労働組合よりマスク



社福いきいき福祉会



リュウカンパニーからは
手作りのクリスマスセット





Micronメモリージャパン



JA横浜たすけ愛チーム



たすけあいゆいへお渡し





無印良品港南台バース店



満福うえのまちこども食堂へお渡し



イオン金沢八景店

入　出　庫　処　理　の　流　れ　（トレーサビリティ確保のために）



入庫処理

1．ハンディで商品バーコード、消味期限をスキャンし、数量を入力
2．カイゼンへデータを送信、プリンタよりロット番号ラベル発行
3．商品へロット番号ラベルを貼り付け入庫
4．商品マスタに未登録の場合、後追いでマスタ登録を行う

出庫処理

1．ハンディでロット番号ラベルのバーコードをスキャン、出庫数量を入力
2．カイゼンとロット番号・出庫数量をチェックし、チェックＯＫの場合、利用団体別の出庫伝票を発行（PDF⇒ﾒｰﾙ添付送付）
3．◆利用団体は、FB倉庫受取時に出庫伝票に受取サイン
　◆「中継拠点」では、受取（入館）証明書とする⇒団体保管場所にて検品後、受取サインし、フードバンクへFAX又はﾒｰﾙ送信



常温食品(ﾄﾞﾗｲ)の物流体系図 【中継拠点】

25



冷凍食品の物流体系図（素案：調整中）

26



「中継拠点」での 提供食品のお渡し！

（写真は2018年撮影のもの）

◆5/22生活クラブあやせ総合センターにて、綾瀬市社協の阿部さん、お福分けの会の野中さんが引取に来られました。（写真右）

◆パルシステム神奈川ゆめコープ麻生センターの横濱センター長とフードバンクかわさきの高橋代表（写真左）







◆6/1おうちCO-OP相模原センターに引取にみえた相模原市の湯田さんと中原さん、相模原C大和田マネジャー



◆6/1おうちCO-OP海老名センターに引取にみえた伊勢原市の鎮目さんとワンエイドの松本理事長、石塚理事、海老名Cの羽山マネジャー、二宮マネジャー

27

2020年3月～コロナ禍でのフードバンク活動

増える寄贈 食品ロス削減

一日入荷として最高の10.8トン
コカ･コーラ　飲み物　7.5トン
鎌倉紅谷　クルミっ子　3.3トン









Coca-Cola BOTTLERS JAPAN INC.
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
News Release

2020年6月22日

報道関係　各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

～さらなる共創価値創造～
新型コロナウイルスの影響に伴う、地域社会の支援として
本年２回目の「フードバンク団体」を通じた製品寄贈を実施

コカ・コーラ ボトラーズジャパン(本社:東京都港区　代表取締役社長:ジリン・ドッカン、以下当社)は、当社販売エリア 38 都道府県のうち、13 都府県、19 のフードバンク団体を通じて、本日 6 月 22 日より 7,497 ケース（165,228 本）の飲料製品の寄贈を行います。今年の 4 月に第 1 弾目として 4,153 ケース（76,422 本）を寄贈し、今回は第 2 回目の実施となります。

フードバンクを通じた飲料製品の寄贈は初めて実施いたしました。子ども食堂などの各種施設施設に提供いたしたものです。今年 4 月の第 1 弾に引き続き今回は全国的な取り組みは別にした、臨時特別製品寄贈です。新型コロナウイルス感染防止対策として「新しい生活様式」が求められることで、子どもたちやその家族に大きな影響がみられていることから、当社が社会貢献ご活動して対応しなければサポートできることを考えて消費の拡大を決定いたしました。定期的な製品寄贈とは異なり、臨時に限定で実施する製品寄贈を行うことで、より柔軟に対応できるようフードバンクとの合意をしております。

当社は、消費者のみなさま、顧客、そして日常生活に必要不可欠な製品・サービスをご提供するために、製造線に立つ従業員の安全と健康を確保していくことを最優先に、すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造するという企業理念のもと、本業を通じて地域が抱える課題を解決するため、共通価値の創造（Creating Shared Value：CSV）に取り組み、今後もあらゆるパートナーのみなさまと支援を行ってまいります。

■当社のフードバンク団体通じたこども食堂などに社会福祉施設への製品寄贈について

当社は 2015 年から日本初のフードバンク団体であるセカンドハーベスト・ジャパン（公益財団法人日本フードバンク推進協議）や一般社団法人全国フードバンク推進機構など 22 団体とパートナーシップを結び、各地域のフードバンク団体を通じて、子ども食堂などに多様な社会福祉施設などに、定期的な飲料製品の寄贈を行っております。フードバンクとは「食料援行」を意味する言葉で、品質には問題がないにも関わらず処分される食品を、企業から寄付を受けて福祉施設や困っている人に届ける団体や活動のことを指しています。昨年は、食品ロス削減推進法が施行されるなど、より一層注目を集めています。

特に子ども食堂は、近年、家庭環境の変化を背景に利用は年々増加傾向にあり、多様な環境におかれた子どもたちが集まることで、調食を共に、食の楽しさを伝えるとともに、食育を広める機会の提供や、多様性を尊重する社会個人形成などの役割を担っています。このような製品寄贈が「コカ・コーラ ボトラーズジャパングループの食品ロス削減につながるとともに、地域社会の課題解決にも貢献できればという思いから活動を展開しています。

コカ･コーラから飲料類、日本農産工業株から卵スープ







セブンイレブンから
セブンプレミアムの提供
県社協を通じてセブンプレミアムから様々な食品が寄贈されています。カルバス、缶詰43, 200缶6トン以上を寄贈









販売期限･イベント中止等による寄贈

農水省仲介

給食用の牛乳
休校により給食用牛乳が余剰となり、全農はロングライフ牛乳200ｍｌ（賞味期限約2か月）にして農水省経由で提供する。
5月半ばから取り組み予定。

機内提供品
飛行機の便数が減り、提供できない機内飲み物・おつまみをデルタ航空が提供

イベント中止
合同会社rakusouより特別仕様のラムネ（飲料）7500本を寄贈。









メリーチョコレート



LL牛乳



日本食研焼きビーフン



かぼちゃのクロワッサン



ヨード卵スープ



パル拡大用砂糖



日本食研　カレールー





日本食研鍋スープ

フードバンクかながわは寄贈と提供マッチング



㈱ツクイ創業50周年記念DAY・マリノス・フロンターレ戦で配布予定だったお菓子（森永ハイチュー特別仕様）1万個を寄贈。フードバンクかながわでは、今急増中の学生支援、子ども支援に活用。





鎌倉紅谷　追加寄贈　8t強
3850万円分の銘菓を寄贈。
コロナ重症患者を24時間受け入れる横浜市立医大病院に1t分を贈呈
エレベーターがきしみ、管理課から電話が‥



給食用お米　649kgの寄贈
開成町で2つの小学校で使う予定の給食用米が余剰となり、寄贈

医療従事者

鎌倉紅谷
新型コロナに立ち向かう医療従事者を応援する

医師・看護師をはじめとする医療従事者の方々を応援しようと、鎌倉紅谷から寄贈されたクルミっ子などのお菓子を病院へお届けし大変喜ばれた。応援・感謝の気持ちはあっても県内の医療機関のどこに・誰に届けたらいいのかと悩むところ。フードバンクかながわの構成団体には、医療生協、JA協同病院、自治労などにつながりがありスピーディに取り組めた。

JA伊勢原協同病院/相模原協同病院/横浜市大病院/市大付属市民総合医療センター/川崎医療生協/神奈川みなみ医療生協/医療生協かながわ/神奈川北央医療生協/日本鋼管病院川崎/川崎市立病院（5/1）の7710名の方々、６月には神奈川県立こども医療センターにも感謝/応援の気持ちと併せてクルミっ子をお届けした。（延べ15100名）











32



2021
日本農産工業㈱より100万円の寄付金につづき、ヨード卵光のたまごスープ、ふかひれスープ22000袋を寄贈いただきました。





神奈川県共同募金会の中島事務局長と細川担当が企業からの寄付品を持参いただきました。また、同会より100万円の助成を受け、不足している副食を購入しました。

◆↓訳ありカレールー（1箱14kg）





2021
㈱伊藤園より、ホテル・旅館向けのお茶ティーバックを寄贈頂きました。

2021
㈱セブン&アイ・フードシステムズ(デニーズ) より、メニュー改変に伴う余剰品を鳥浜駅前のデニーズの集めて頂き、寄贈を受けました。

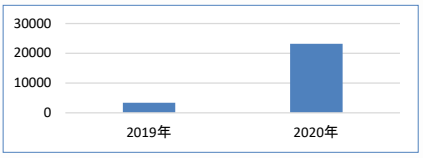
コロナ禍での市民の食品支援活動

（1）こども食堂・子ども支援団体

パート・アルバイトの職場が失われ、食品支援の必要な家庭が増加。子どもは休校で行き場所を失う、欠食という状況が想定されたが、公共施設の調理室が使えず、密を避ける、ボランティアの不安もあり、混乱した。子ども支援団体では休校による生活の乱れ、親子のストレス、虐待リスク、食事が十分とれているか。

コロナ禍でのこども食堂

フードバンクかながわからの提供量4-7月の比較



フードバンクかながわに登録する子ども/地域食堂は86団体。実利用は約55団体。食堂や弁当提供で頑張っている食堂もあるが、公共施設の閉鎖等で食堂からフードパントリー(食品提供）に移行。4-7月は前年の4倍量になった。

21年1月は活動を自粛する団体が多く量も減少。

2020年	3月	4月	5月
食堂	1	1	2
食品提供	12	18	18
弁当	4	5	5
休止	5	3	7
他・不明	18	12	11
合計	40	39	39



よこすかなかながや
（横須賀市）



NPO法人ちゃっと
寄り添い型生活支援事業
（保土ヶ谷区）



キッズカフェ杉田
（金沢区）



にのみやこども食堂便 （二宮町）

34

金沢区内のこども食堂マップ



相模原市とは、協定を結び、市に登録するこども食堂がフードバンクを利用する場合、調査訪問を略す。
市が把握する38のこども食堂団体のうち8月に27団体が活動中。内19団体が弁当配布。4団体が食品配布と回答。
1回の参加者は計1360人にもなる
（相模原市こども若者未来局調べ）

2021年8月
連携するこども食堂・地域食堂
122か所、内74団体が活動中
404回　29.1ﾄﾝ提供

2020年8月
64団体が活動
382回　26.8ﾄﾝ提供

35

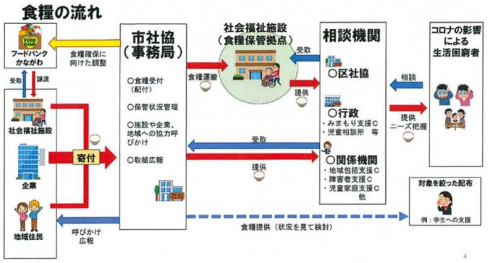
（２）ひとり親家庭支援

横浜市（こども青少年局）＝ぱくサポ
（ひとり親世帯サポート事業食品提供会）
横浜市は横浜市母子寡婦福祉会に委託し、市内在住の一人親家庭（約3万世帯）を対象に2020年7月より食支援（ぱくサポ）を開始。
横浜市の１８区を巡回し、毎週4～6カ所の地区センター等で食品を提供している（各回60世帯まで）

横浜市社協
「ヨコ寄付」200万円目標活用
新型コロナウイルス感染症対策の影響等により食べる事に困っているひとり親家庭の子どもを支える取り組み。子どものいるひとり親世帯で食の支援が必要な方へ、7日分程度の食品と支援機関パンフレット等を、宅配によりお届け。

川崎市社協（食糧支援かわさき）
支援機関がかかわっているコロナにより食支援を必要な人
関係機関から提供





（３）外国籍の支援　団体

NPO法人ブラジルsolidário横浜は、ブラジルから日本に来ている労働者が雇い止めにあい、明日の食事にも事欠く人が多いことへの支援体制を急遽つくった。母国に帰るに帰られず、仕事も打ち切られている方が本当に多く、どこに助けを求めて良いのか困惑している。食事提供、食品提供。



フードバンクかながわ倉庫まで引取りにみえた鈴木アウレリオさん
日本のブラジルといわれる群馬県大泉町まで運びます

（４）　DV被害支援団体

DV支援センター/ラフリーチェ2019年
①DV・虐待で苦しむ女性と子ども達の相談支援・救済支援
②DV・虐待被害者および母子家庭等貧困世帯の子ども達への居場所支援・教育支援・食事提供支援
行政の食支援に行ったら「児童扶養手当の証明を見せてと言われた。事情を説明したら、別居中は夫から生活費をもらうべきと言われ支援してもらえなかった」というケースも聞いた。
支援が少なく、偏見が多い。相談・食事提供・食品提供。
生活保護を受けずに生活している人のほうが困窮している例もある。食品配布は月1回だが、それ以外にも困っている人には届けたりしている。
やっぱり食支援が一番欲しい　という声　⇒　2020年7月から無料食品頒布会　月1回　先着20名



（5） 学生支援

入学はしたものの、友だちもなく実家にも帰れない、アルバイトもないという状況に置かれ、学校には入れず、授業はwebだが、web環境もが整わない学生がいた。学生は住民票を移してない場合が多く、支援対象外となる可能性が心配された（横須賀市福祉部）。

5月になり横須賀市、横浜市社会福祉協議会で支援が始まった。その後相模原市が継続支援し、現在では横浜市立大学が、社協やフードバンク、地域との連携により、支援を継続している。

学生が学生の支援する活動　かながわ学生ボランティア連合

配送費の助成金を取り、留学生などに食品を送る活動と、合せて社協の協力を得てフードドライブを実施し、フードバンクかながわにも寄贈。





学生ボランティア連合代表
関東学院大学の中野さん



横浜市立大学



横浜市社協



川崎市社協



横須賀市役所



相模原市役所

（6） 地域密着のフードバンクでは



NPO報徳食品支援センター　（小田原市）

西湘地区（2市8町）は30万人のうち2万人が観光関連のパートタイマー。母子世帯が多く一気に母子世帯支援が拡大。お米のニーズが大きい。赤い羽根共同募金会助成を活用し冷凍冷蔵庫設備を設置できた。ひとり親世帯は冷凍食品を必要としている。
ミートボールなどこどもの弁当を作る為だ。助成金で足りない食品を買っている状態だが、企業が冷凍食品を安く提供してくれたらうれしい。

今もう一つの問題は外国人労働者支援だ。外国人支援というとメーカーは身構えるが、今一番苦労しているのは外国人労働者であることを忘れてほしくない。7－9月の食品提供量は700kg超。
現在運営費のクラファン実施中　（本岡副理事長談）



NPOワンエイド　（座間市）

コロナ禍では生活保護申請中、ホームレス、DV被害者、年金前、こども食堂、住まい相談など月に200件以上の相談があった。今まで支援を必要としなかった人から支援を求められた。行政の窓口が閉まったことで行き場を失った人やネットカフェで生活していた人の相談も多かった。

食支援と同時に住まい支援も必要になるため、居住支援も併せて実施している。

市内の学校給食用米の提供、地域の団体・個人の寄付、食品の倉庫提供など、地域の団体や人と連携することでたすけあいの市民活動が成り立つと実感する。（松本簗 理事長　石塚恵 理事談）

コロナ禍で生まれた活動

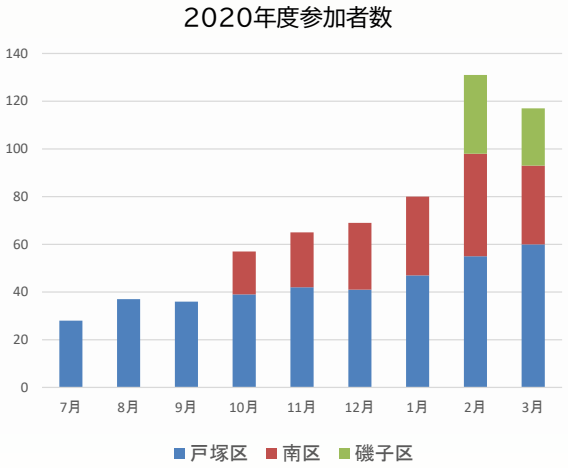
NPO 浜っ子南 （横浜市）

学習会に集まった仲間がフードバンクを設立

■ ミッション
食を分かち合い助け合える豊かな地域社会を目指す
フードバンクを地域社会のインフラ にする♡

コロナ禍だからこそ 助け合いを
身近な場所で食の支援が受けられるように
2020年6月 ボランティア団体フードバンク浜っ子南 設立
＊横浜市内磯子区・港南区・栄区・戸塚区・南区とその周辺区を主な活動エリア
＊ひとり親とその子どもに食品提供支援
＊自分たちの住んでいる場所で地域密着の活動をつくっていく
7月 戸塚区でフードパントリー開始
10月 南区でフードパントリー開始
2021年2月 磯子区でフードパントリー開始
4月 NPO法人フードバンク浜っ子南 設立
5月 浜っ子南の「生活相談」開始
7月 戸塚区2か所目のフードパントリー開始

ひとり親家庭に食品配布支援
○南区 （第２日曜） 南区地域子育て支援拠点
○磯子区（第３土曜） 磯子地域ケアプラザ多目的ホール
○戸塚区（第１日曜） 戸塚区地域子育て支援拠点
○戸塚区（第４日曜） 戸塚区役所多目的スペース



（下山理事長学習資料より）

コロナ禍で生まれた新たな活動

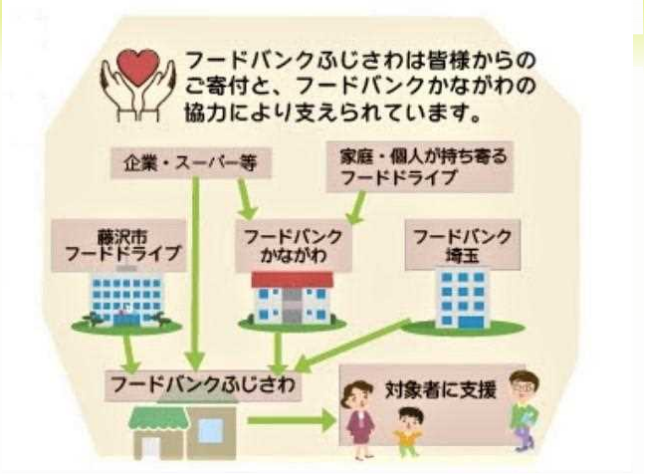
フードバンクふじさわ設立

フードバンクかながわは2020年4月「藤沢にフードバンクをつくろう」フォーラムを企画したが、コロナ禍となり延期。

この間地域の活動団体『ふじさわ福祉NPO 法人連絡会』と、協議を進め、藤沢市社協、藤沢市、（社福）いきいき福祉の協力を得、新たな組織『フードバンクふじさわ』を設立させた。

設立総会には藤沢市長・正副議長、社協会長、いきいき福祉会理事長とともに、當具フードバンクかながわ共同代表挨拶。
6カ所でントリー
支えあいセンターヨロシクまるだい 地域の縁側ほっと舎
ふらっとステーションふじさわ ささえあいセンターかるがも
ささえあいセンターきらり ささえあいセンターyell（エール）

2021年8月の状況





6カ所合わせて200人超が利用している。月２日開催が2か所、1回開催が4か所。社協職員が運営委員で参加し、市の相談窓口での紹介、環境の職員に廃棄してはもったいない、フードバンクで使えないかという意識が上がるなど、藤沢市、藤沢市社協との連携が特徴。
地域の企業、農園、社福などからの寄贈、場所提供、学生の配送ボランティアなど、市が協力しているという背景で連携が拡がっている。

コロナ禍で生まれた活動

地域の茶の間研究所サロンど・て（茅ヶ崎市）

食を通した地域の居場所からからフードパントリーへ

- こども食堂など食支援の活動113団体
- 助成金を活用し冷凍庫、冷蔵庫
- フードバンクかながわ・セカンドハーベストジャパン・コストコ活用
- こども食堂、居場所の活動と連動食堂・弁当・食品提供
- 行政の相談窓口から紹介も
- ちがさきデポーでフードドライブを



早川仁美さん資料より



ニュースから
8月は100世帯へ
王将提供の弁当103食配達
ひとり親世帯向けカフェ月1回開催
月2回こども食堂
9月はパントリーを6回開催





県内のフードバンク活動

横浜市	フードバンク横浜
横浜市	フードバンク浜っ子南
横浜市	お福わけの会
横浜市	食支援ネットかながわ
横浜市	青葉フードシェアネットワーク
川崎市	フードバンクかわさき
横浜市	セカンドリーグ神奈川
相模原市	フードコミュニティ
相模原市	サテラ
横須賀市	フードバンク神奈川プラス
小田原市	報徳食品支援センター
平塚市	フードバンク湘南
大和市	さくらの森親子サポートネット
座間市	ワンエイド
鎌倉市	フラットカフェ鎌倉
小田原市	たすけあい
茅ヶ崎市	地域のお茶の間研究所さろんどて
藤沢市	フードバンクふじさわ
厚木市	フードバンクあつぎ
横浜市	カナン・キリスト教会



コロナ禍で生まれた活動

地域ネットワーク型フードシェア

青葉フードシェアネットワーク（横浜市青葉区）

フードバンクかながわ



様々な場所でフードドライブ拠点を開設し、保育園を中心に登録制で食品支援
100名超

きっかけ・・・フードバンクかながわのミニフォーラム
・・横浜北部にはフードバンクがなく、みなみエリアに取りに行く人があった。

多様な団体が緩やかにネットワーク
横浜北生活クラブ、市ヶ尾デポー、ピッピ親子サポートネット、ワーカーズコレクティブパレット、スペースナナ、フードシェア青葉、フードシェア市ヶ尾、わかばコモンズ、フードシェアつづき、都筑市民相談窓口、

エリアでフードドライブ+フードバンクの提供⇒
グループの保育園などでの食品支援　登録制で100名以上

保育園・・ママがふと漏らした一言で気づくことがある
日常会話の中で何気ない励まし
ひとりじゃないよ、何時も気にしているよ

地域でフードドライブをすることで、支援に参加したい人が見つかる
ボランティアや寄付者

フードシェア活動を見える化
フードドライブをする団体に聞き取り　イトーヨーカドー、無印良品、西友など
行政の生活支援課に聞き取り
フードシェアガイドを作成しよう

コロナ禍で生まれた活動

地域ネットワーク型フードシェア
フードドライブとパントリーの同時開催

かわさき生活クラブ・たかつデポと川崎医療生協

毎月第4土曜日　14：00～16：00　たかつデポー店前（高津区坂戸１-１１-２）でフードドライブ（個人寄贈）とフードパントリー（食品提供・配布）を同時開催
フードドライブ：毎月第4火曜に川崎医療生協メンバーが、たかつデポー集会室に荷受けしたフードパントリー品を搬入。たかつデポーのフードバンク活動チームと一緒に配布用に仕分け作業、保管。
フードドライブ：たかつデポー店内で常設フードドライブ回収ボックスの設置もスタート。W.Coデポットの協力を得て実施.集まったドライ部品はW.Coキャリーがあやせセンターへはこび、フードバンクかながわへ。

2021年4月
かわさき生活クラブたかつデポーでのフードドライブは、チラシによる呼びかけで30人から180個の持ち込みがあり、段ボール11個分が寄贈された。また、川崎医療生協との連携で食品支援（フードパントリー）も行った。5名来所し予約希望が10名あるなどの反響。





この活動に共感する組合員が増えた。かわさき生活クラブは理事（組合員）と全職員がフードバンクの学習研修に参加。
「フードバンク活動を伝えて拡げます」と力強い。





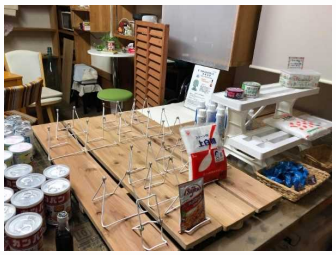


コロナ禍で生まれた活動

地域の力で子どもの育ちを支援する場での食品支援

CoCoLoの会の無料food@沼間





毎週月曜日（祝日も）10－17時

誰でも気軽にお持ち帰り頂けます
「もったいない」が「ありがとう」
になるワクワク
「あったらいいよね」をカタチにしながら、CoCoLoの会は、今年で11年目となります。
子ども達がのびのび成長するためには、
周りの大人だったり、地域のお力が不可欠です。そんな気持ちがこの無料フードにつながっています。
早速、テーブルが空になる程の大盛況。
ひとまず、毎週月曜日からの再開ですが、コツコツ続けていきたいと思います。

さらに
平日昼間や土日に仕事をしたりして、時間の合わない人っているよなあ・・のつぶやきから
真夜中の無料food@沼間　10月1日21時～25時

につながりました。

コロナ禍で生れた活動

金沢区ひとり世帯向け食料支援の連携

民児協×区社協×福祉保健課×市民×フードバンク×企業

３月21日(日)金沢区役所でひとり親
食品支援が実施された。20年度の民生委員児童委員活動費
での食品購入と区役所フードドライブ品、フードバンクかながわ、企業からの食品の寄贈による。12月に横浜社協が行ったひとり親食支援者の中から金沢区在住の63世帯へ連絡。区役所ロビー・会議室の貸し出し、食品の搬入・袋詰めを担った。相談窓口は設置しないが相談のチラシ等を封入。金沢区の民児協は21年度も2回程度の支援を予定している。100世帯分用意し当日申しこみは81世帯。





コロナ禍で生まれた
新たな活動

綾瀬市での食料支援の連携

綾瀬市×市社協×市民団体×フードバンクかながわ×フードドライブ

綾瀬市では福祉総務課・社協・市民団体が、食料無料提供企画「フードリンクあやせ」を実施。市・社協が事務局となり、子ども食堂、地域交流サロン運営団体など8団体が共同で担う。実施に先立ち市民に食品寄付を呼び掛け、169件4,547個の食品が寄付された。

3月24日に関係者による仕分けと米の計量が行われ、26日27日に各100セット（１袋15個相当）を準備。フードバンクかながわからは米200袋、缶詰、レトルトカレー、ビスケット、飲み物を提供。当日は、2日間で約100名が利用した。仕分けに参加した市民からは「継続したいね」という声があがり、今後に綾瀬市でのフードバンク設立が期待される。









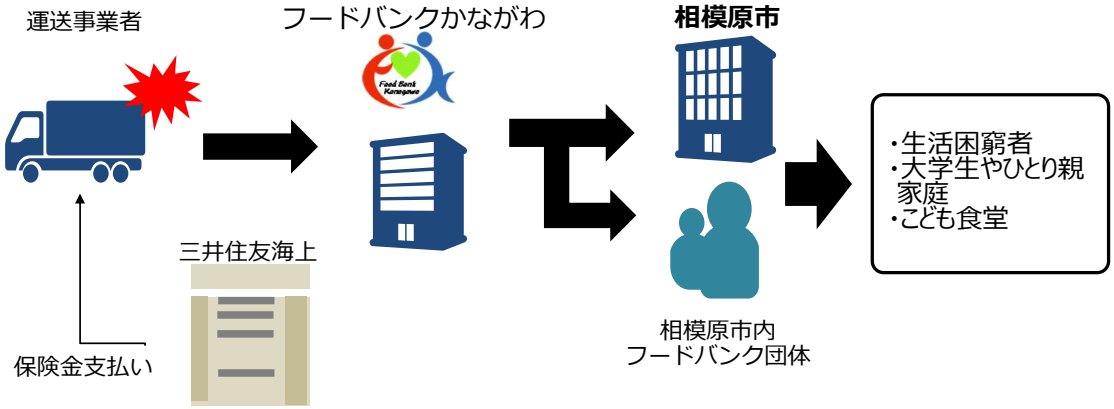
相模原市・三井住友海上火災と食品ロス等の削減に向けた協定締結の概要



食品ロス等の削減に向けた協定締結式2021.10.8

写真左から
・フードバンクかながわ
吉坂代表、當具代表
・相模原市　本村市長
・三井住友海上火災
山本神奈川支店長

三井住友海上火災保険株式会社が提供する運送保険「フードロス削減プラン」に加入した物流事業者が運送事故を発生させた際、損害品のうち条件を満たす食品等を公益社団法人フードバンクかながわに寄贈することで、食品ロス等の削減や、市内生活困窮者等の支援につなげるもの。



8/7.10横浜市立大学ボランティア支援室の呼びかけで、学生15名がフードドライブ寄贈食品の点検・仕分やお米の小分け袋詰め作業のお手伝いをしていただきました。









10/19　葉山町の山梨町長（写真上右側）が食品寄贈合意書と寄贈食品を持参いただきました

2021体験研修


横浜市3局4課の課長・係長


並木第一小学校　4年2組33名+先生


生活クラブ生協新入職員



基幹労連青年部



湘南地域労福協



JAMコイト電工労組



東日本三菱自動車労組



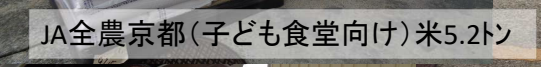
三浦半島地域労福協



富士フイルム生協：防災備蓄品カゴ車23台分



横浜市3局4課の課長・係長



JA全農京都（子ども食堂向け）米5.2トン



パルシステム神奈川より米6トン



労働関係団体では、昨年に引き続き、「米一合運動」実施中



横須賀市役所より米180kg



無印良品：通常便では送れないので、休日にフードバンクまで持参



プリマハムよりソーセージ32000袋



日本生協連よりカップ麺12000個



※写真左・左下

公財）よこはまユース
（横浜総合高校）

※写真右

あさみぞみんなの
コミュニティ
（相模原市）

※写真は2018年撮影のもの















くろーばーマーケット（来店型フードバンク）
byさくらんぼ



地域フードバンクの１つでもある「お福分けの会」（横浜市瀬谷区）では、ひとり親家庭を中心に約90世帯300名）に毎週食支援を行っています。

配布場所は現在12か所で、世帯構成にあわせて箱詰め、仕分け作業は、利用者のみなさんも一緒に行っています。

地域のフードバンクに寄せられた　ありがとうの声（コロナ前）

お米を頂けるようになってから、炊飯器の中にご飯がある状態になりました。子どもはそれがうれしくて、しょっちゅう炊飯器を開けて確認しています。子どもの笑顔も見れるようになりました。ありがとうございました

いろいろな食べ物を頂けているので、食べ物のレパートリーが増えました。子どもも毎回「これ何？」と聞きながら食べています。学校で恥ずかしい思いをすることも少なくなってきたようです。

子どもに朝ご飯を食べさせることができるようになりました。それまでは朝は食べずに、給食まで我慢していました。ありがとうございました。

ありがとうの声

中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼ごはんを持たせてあげられるようになりました。それまでは保健室に行ったりトイレに行ったりとしていたそうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くようになりました。

果物や野菜など新鮮な物を頂くことが出来ています。特に果物やお菓子などは買うこともできないのでとてもありがたいとおもっています。

運動会の時にお弁当を作ってもっていきました。いつもより多いおにぎりやおかずに子ども達は大喜びでした。私も楽しい時間を過ごせました。

ごはんを食べさせることができるようになり、子どもが少しですがふっくらとしてきて子どもらしくなってきました。とてもうれしい出来事です。

56

ありがとうの声

コロナ以降のメッセージ

「食の支援」来場学生のヒアリングから 2021年3月開催　横浜市立大学

2年看護＆教養女子

今日はα水や、お菓子がうれしい！バイトは二人とも飲食。お互いシフトは減った。現在一緒に、追浜にあるシェアハウスで生活している。全部で15人住んでいて、ヨコイチ生が6人、1年生が一人。コロナの期間、シェアハウスは最高！一人暮らしだったら耐えられなかったと思う。コロナ禍で、より住人同士の仲が深まった。

生命科学2年男子　中国からの留学生

今日はすごい！重いけれど。お米は一番大事な食糧なのでうれしい。インスタントラーメンやレトルトなど、すぐに食べられるものは特にうれしい。中国には3年間帰っていない。理研で実験をしているので、すごく忙しく、学費を払わなければいけないが、アルバイトができない。

2年女子　秋田

今日はすごくいっぱいの食料でびっくりしている。レジ打ちのアルバイトをやっているが、社員優先でシフトを組んでいるので、アルバイトは減らされている。4月からはぼちぼち入れるようになるかな？実家にもまったく帰っていない。

こども食堂（フードパントリー）

・仕事と収入が不安定な中病気の家族を支えている家庭から食材配達は大変喜ばれています。
・短期雇用（数カ月）の雇用契約で働いて子育てをしている家庭からは食べものがあることは安心して暮らせる力になるとの声を頂いています。
・コロナ禍で収入が減り、食べ盛りの子どもに十分食べさせてあげられていなかった。

今日失業しました。助かります。

自立支援ホーム

男子ホームで食用旺盛。お米が主食です。支援していただいている16－19歳の少年たちは働きながら高校へ通っています。弁当の必要なものもおり費用はホームの持ち出しとなる為支援が大変助かります。感謝申し上げます。

高校生カフェ

高校生に大好評で、とっても助かる、うれしいとの声がとても多いです。高校生なのに、こんなにも家のことを気にしている子が多いことに改めて気づかされました。

地域のフードバンク

コロナの影響で減給のうえ、シフトも減り先行き不安な中、今回の支援を知りました。昨今は母子家庭に対する風当たりも強く助けを求めることがはばかられていましたが、たすけてくださる方々がいるということがとても心強かったです。（ひとり親世帯）

児童家庭支援センター

利用7回目です。新しい就職先が見つかりましたが、まだ給料に反映されず、困っています。もうしばらくご支援いただきたいです。

コロナでまだ収入が半分以下の状態です。大変助かっています。ありがとうございました。

4月から進学しバイト代を生活費に充てていますが、すでにやり繰りの大変さを痛感しています。生活が軌道に乗るまでご支援よろしくお願いします。
保育園・学童を使ってフルタイムで働いています。食べ物の不安も減りますし、受け取るとき相談に乗って頂けるのでありがたいです。

特に離乳食が本当に助かっています。
気になっている家庭をご紹介することができました。

57

舞い上がれ
社会を変える
みんなの力
休眠預金活用事業

Food Bank Kanagawa

公益社団法人 フードバンクかながわ

236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45
Tel 045-349-5803
Fax 045-349-5804
Mail info@FB－kanagawa.com

2022年1月 1000部作成